

平和憲法・9条をまもる 岩手の会 ニュース No.33

2008.5.2

発行：平和憲法・9条をまもる
岩手の会 事務局会議

連絡先 県生協連・県消団連

TEL019 - 684 - 2225

FAX019 - 684 - 2227

改憲反対が多数に！

読売新聞
世論調査から

例年4月から5月にかけて多くのマスコミが競って憲法に関する世論調査を実施しています。改憲の立場に立つ読売新聞4月8日号は「憲法改正『賛成』42.5%『反対』43.1%」との見出しで、「93年以降、一貫して改正派が非改正派を上回っていた。しかし今回は改正派が昨年より3.7減る一方、非改正派が4.0増え、これが逆転した」と書いています。その理由として「憲法改正に強い意欲を示した安部前首相の突然の退陣や、ねじれ国会での政治の停滞へのいらだち」をあげています。

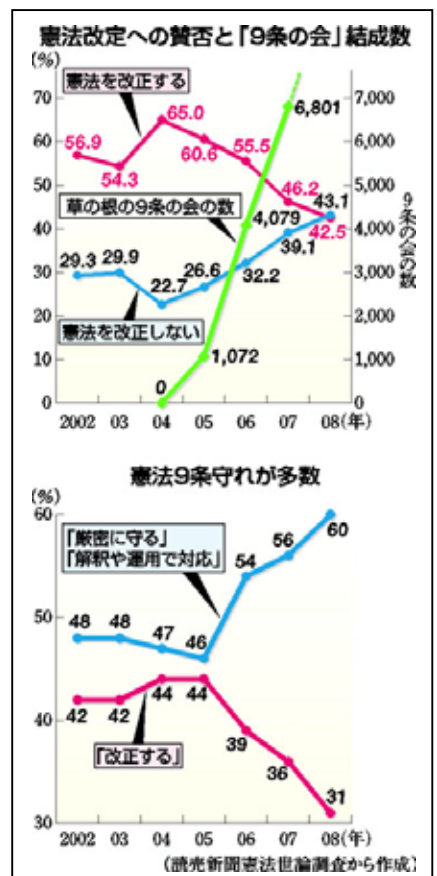
私は一番の理由は、調査結果に表れていますが、非改正派が改正に反対するのは、「世界に誇る平和憲法だから(5.3%で最多)」だと考えます。そうした世論は全国各地に7千とも8千とも言われる「九条の会」の運動や、「平和憲法・9条をまもる岩手の会」が呼びかけた憲法9条を守る署名26万筆の取り組みに表れています。

世論調査でもう1つ注目したのは、自民党支持層でも改正しない方がよいと回答したのが39.1%もあること、逆に無党派層にも改正した方がよいとしたのが40%もあることです。この結果から、私たちの運動の方向はもっと草の根的に、ご近所や労働組合もない所に対話・署名を広げていくことが大切ではないでしょうか。今回の世論調査に私たちは大いに確信をもつこと、そして多くの方に伝えることが大事です。

秋の臨時国会では「自衛隊の海外派兵・武力行使恒久法」の制定が狙われておりますが、これを許したら「9条が骨抜きされる」こととなります。

最後に、改憲派は私たちの運動を反面教師にしたのでしょうか、「新憲法制定議員同盟」は3月に開かれた総会で、改憲運動を地域・地方から巻き起こしていくとの方針を決めており、日本青年会議所もまた「憲法タウンミーティング」を全国で開く計画です。渡辺治教授(一橋大学)が「アメリカと財界の強い要求である改憲策動は、内閣の1つや2つ潰れたから止めるといったようなものではない」と指摘していることなどを肝に銘じて、今後とも取り組みを続けていく必要が有るといえるでしょう。

(憲法改革反対岩手県共同センター 菅野 恒信)



次回の署名行動

5月は、9日(金)に大通り野村證券前にて11:30より行います

連休明けで、お忙しいことと思いますが、皆さん是非参加してみてください。

前回の様子

4月9日に、大通り野村證券前にて14名の参加で行いました。春になり、暖かい日差しの中での署名行動となりました。年度の始めのせい、若千人通りが少なく感じたものの、45分間で61筆の署名が集まりました。

世界中がコスタリカだったら

何と幸せで美しい地球になるでしょうか



いわてピースキャンパスでは、チームを作って月1回集まりそれぞれ自主的に学習し、半年に一度、学んだことの発表や交流会を開催しています。今回は中米のコスタリカに滞在経験をもつガラス絵作家・児玉房子さんを招いて、ミニ講演も行ないました(4月13日)。

憲法で軍隊を廃止し、軍事費がないコスタリカは、平和が教育の中で大切にされ、自然も大事にする国づくりをしていて、子どもたちも軍隊のないことを誇りにしているとのこと。児玉さんは宮沢賢治の先見性にも触れ、「世界全体が幸せにならないうちは、個人の幸福はありえない。みんなで手をつないで、がんばりましょう」と締めくくりました。

その後、昼食交流会も実施。「みんな熱心に聴いてくれて、楽しかった」と児玉さんも話したように、みんなで平和について語り合いながら、日曜日のひとときを過ごすことができました。



(いわてピースキャンパス事務局 三浦光弘さん)

Youth
9
岩手

いわて青年9条の会

青年9条の会では、青年憲法署名行動としていわて労連青年部などと共に、4月26日(土)の午後、盛岡市亀ヶ池前にて8名の参加で街頭署名の取組みを行いました。

盛岡城跡公園のサクラも緑が混じり始めたなか、花見客もチラホラ。旗の準備に手間取ったりして、実質30分程度の署名活動でしたが、学生や高校生も「9条変えられたらヤバイ!」と、署名の呼びかけに応じてもらい、約22筆を集めることが出来ました。

街宣終了後は、今後の取組みを話し合いながら、花見をしました。



映画「日本の青空」笠石と久慈でも上映決定!

(

)



いわて女性九条の会3周年記念講演会